

主要産地における平成25年産水稻の生育状況等について (5月20日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成25年5月20日)

道府県	区分	生育状況等		備考		参考				
		播種・田植進行状況等 (自治体等公表資料の抜粋)		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)	気象関連公表資料 (気象台等公表資料の抜粋)	生産数量目標				
		平年に対する遅速等				平成25年度	前年度との比較	増減率	収穫量 (主食用) 24年度	作況指数 24年度
北海道	(育苗)	<p>(道全般) 苗は低温と日照不足から生育遅れが見られる (北海道農政課 5月15日現在)。                      (石狩) 低温・日照不足により出芽及び生育が遅れている (7日遅)。生育にばらつきが見られる (石狩振興局他 5月15日現在)。                      (渡島) 生育はやや遅れて推移している (出芽3日遅) (渡島振興局 5月15日現在)。                      (樺山) 低温・日照不足の影響で、生育はやや遅れている (播種 3日遅れ、出芽2日遅れ) (樺山振興局 5月15日現在)。                      (後志) 生育はやや遅れている (出芽3日遅) (後志総合振興局 5月15日現在)。                      (空知) 生育は遅れている (出芽6日遅)、直播播種状況は岩見沢 約90%、美瑛 5~10%程度、北空知は未播種 (空知振興局 5月15日現在)。                      (上川) 生育はやや遅れている (出芽4日遅)。                      (留萌) 播種期後半以降の低温、日照不足により生育が遅れている (6日遅) (留萌振興局 5月15日現在)。</p>		<p>(上川) 播種の遅れとその後の天候不順により移植作業は遅れる見込み (上川総合振興局 5月20日公表)。                      5月の馬鹿苗病の発生はやや多、苗立枯病の発生は平年並みの予報 (北海道病害虫防除所 4月30日公表)。</p>	<p>5月上旬の石狩・空知・後志地方の平均気温はすべての地点で平年よりかなり (平年差-2.3~-4.1) 低かった。日照時間はほとんどの地点で平年より少なく (岩見沢等)、かなり少ない地点 (札幌等) 多かった (札幌管区気象台等 5月14日発表)。</p>	572,940	▲ 11,360	▲ 1.9	621,800	107
青森	(田植)	<p>県全体の進捗状況は1%。平年に比べ11ポイント低い (青森県 5月15日現在)。</p>		<p>苗の生育が遅れており、今後の田植えに備え、耕起・代かき作業が進行中 (青森県 5月16日公表)。</p>	<p>5月上旬の青森県の平均気温は青森・深浦・むつ・八戸でいずれも低かった。日照時間はむつ・八戸で少なく、青森・深浦でかなり少なかった (青森県・青森県地方気象台 5月13日発表)。</p>	259,220	▲ 350	▲ 0.1	279,800	106
岩手	(田植)	<p>全县の田植えの進捗率は20%。地帯別では東部27%、北上川下流で28%で概ね平年並み (岩手県 5月13日現在)。</p>		<p>北上川上流及び北部では5月17日頃から田植えが本格化してくる見込み。耕起・代かきなどの田植え前作業と田植え作業が順次行われており、田植えは概ね適期に行われる見込み (岩手県中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月14日公表)。</p>	<p>5月上旬岩手県の期間中の平均気温はかなり低かった。日照時間は少ないから平年並みだった (岩手県・盛岡地方気象台 5月14日発表)。                      東日本太平洋側、西日本では4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は今後2週間程度は持続する見込み (気象庁 5月14日発表)。</p>	286,350	3,880	1.4	292,900	105
宮城	(田植)	<p>県全体の田植進行状況は62.9%。前年同期と比べて進行がやや遅れている (宮城県 5月14日現在)。</p>		<p>・田植は石巻地区で最も進行 (約81%)、気仙沼地区 (約29%)、栗原地区 (約41%)、やまがた地区 (約51%) では遅い。                      ・4月下旬からの気温が平年より低く推移したことや寒暖の差が大きかったことから山間高冷地帯等では苗の生育が遅れており、田植え時期を遅らせているところがある。                      ・田植え後の低温や強風などにより葉先枯れや活着不良のほ場も散見される。 (宮城県 5月16日公表)。</p>	<p>5月上旬の宮城県の平均気温はかなり低く、日照時間は平年並みからかなり多かった (宮城県・仙台管区気象台 5月13日発表)。                      東日本太平洋側では4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は今後2週間程度は持続する見込み (気象庁 5月14日発表)。</p>	380,770	7,210	1.9	387,400	105
秋田	(田植)	<p>(鹿角) 田植え作業は一部が始まっているもの、苗の生育が遅れていることから5月第3週末に始期を迎える見込み (5月15日現在)。                      (北秋田) 田植えの進捗率は0.3% (5月15日現在)。                      (山本) 田植え作業が一部始まっているが、本格的な作業は5月第3週末からの見込み。                      (秋田) 田植え作業の進捗率は0.1% (5月10日現在)。                      (由利) 田植え作業の進捗率は25%、5月第3週末に一気に進む見込み (5月15日現在)。                      (平鹿) 田植え作業が一部始まる (5月15日現在)。                      (雄勝) 直播栽培の播種作業が始まっている (秋田県 5月17日付)。</p>		<p>(鹿角) 5月中旬に入り平年並みの気温で経過していることから、苗の生育も回復しつつある。                      (北秋田) 5月第3週末から田植え作業は本格化する見込み。                      (山本) 平年より4日遅れの5月9日に播種作業の終期を迎えた。                      (秋田) 平年より6日遅れの5月8日に播種作業の終期を迎えた。                      (由利) 平年より1日遅い5月10日に田植え作業が始まった。                      (平鹿) 播種作業の進捗率は約91%で、平年より5日遅れ。                      (雄勝) 平野部の播種作業は概ね終了した。                      (秋田県 5月17日公表)。</p>	<p>5月上旬の秋田県の平均気温は低く、かなり低い所が多かった。日照時間は少なく、かなり少ない所が多かった (秋田県・秋田地方気象台 5月13日発表)。</p>	446,430	2,790	0.6	450,400	100
山形	(育苗)	<p>育苗初期～中期 (4月中下旬) にかけて低温が続き、一部に出芽不揃い、カビの発生やムレ苗などが見られた (庄内総合支庁 5月14日付)。                      播種作業の遅れに加えて、4月中下旬～5月上旬の気温が低く経過したため、苗の生育遅延や一部では不揃い等の障害が見られたが、最近の気温上昇で回復傾向 (最上総合支庁 5月16日付)。</p>		<p>4月中旬以降の断続的な降雨により、耕起・代かき作業が遅れ、移植作業も平年より4日程度遅れて始まる (山形県庄内総合支庁 5月14日公表)。                      平年に比べて田植え作業は遅れる見込み (最上総合支庁 5月16日公表)。</p>	<p>5月上旬の山形県の平均気温は平年よりかなり低かった。日照時間は庄内・最上では平年並みから少なく、村山・置賜では一部でかなり少ないところがあったが概ね平年並みから多くなった (山形県・山形地方気象台 5月13日発表)。</p>	374,200	5,210	1.4	380,500	102
福島	(田植)	<p>田植え始まる (JA新福島No.163 5月8日付)。</p>		<p>「長期の低温に関する農作物等の技術対策」を发出し低温対策、降霜後の対策について指導 (福島県 5月1日公表)。                      5月の苗立枯病の発生は平年並みと予報 (福島県病害虫防除所 4月24日公表)。</p>	<p>5月上旬の福島県の平均気温は低く、かなり低いところが多かった。日照時間は全津で平年並みから多く、中通りや近通りでは多く、かなり多いところが多かった (福島県・福島地方気象台 5月13日発表)。                      東日本太平洋側では4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は今後2週間程度は持続する見込み (気象庁 5月14日発表)。</p>	355,860	▲ 4,470	▲ 1.2	367,600	104
茨城	(田植)	<p>4月30日に移植したコシヒカリ苗の活着は良好 (坂東地域農業改良普及センター 5月13日付)。</p>		<p>4月下旬現在、本田でのイネミズゾウムシの生息数が最高に達する時期は、県南・県西地域で5月中旬頃、県北・県央・鹿行地域で5月下旬～6月上旬と予想 (茨城県病害虫防除所・植物防疫協会 4月30日公表)。</p>	<p>5月上旬の茨城県の平均気温はすべての地点で平年を下回った。日照時間は平年よりかなり多くなった (茨城県・水戸地方気象台 5月14日発表)。                      関東甲信地方では、山梨県・埼玉県を中心に、4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は、今後2週間程度は持続する見込み (気象庁 5月14日発表)。</p>	348,890	▲ 2,940	▲ 0.8	399,600	103
栃木	(田植)	<p>5月のいもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシの発生は平年並みと予報 (埼玉県病害虫防除所 4月30日公表)。</p>		<p>5月上旬の栃木県の平均気温は低く、北部ではかなり低いところがあった。日照時間は全般にかなり多かった (栃木県・宇都宮地方気象台)。                      関東甲信地方では山梨県、埼玉県を中心に、4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は今後2週間程度は持続する見込み (気象庁 5月14日発表)。</p>	321,550	40	0.0	331,300	101	
埼玉	(田植)	<p>高温障害に対しては6月15日～20日の移植が安全であると指導 (埼玉中央農業協同組合 5月10日付)。</p>		<p>5月上旬の埼玉県平均気温は各地で平年より低くかった。日照時間は各地で平年よりかなり多かった (埼玉県・熊谷地方気象台 5月13日発表)。                      埼玉県では4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は今後2週間程度は持続する見込み (熊谷地方気象台 5月14日発表)。</p>	156,600	▲ 2,110	▲ 1.3	168,600	99	
千葉	(田植)	<p>4月30日現在の植え付け状況は約61%と平年並み (JA全農ちば営農情報5月)。</p>		<p>向こう1か月のいもち病の発生はやや少、イネミズゾウムシの発生は平年並み、イネドロオウムシの発生は平年並み、ジヤンセンカニシの発生は平年並みの予報 (千葉県農林総合研究センター 5月15日公表)。                      「長期間の低温に関する全県気象情報に伴う農作物等の管理対策」を发出し、育苗管理、本田管理 (田植作業等) について指導 (新潟県 5月1日公表)。</p>	<p>5月上旬の千葉県の平均気温は鎌子・館山・勝浦は平年に比べかなり低く、千葉では平年に比べ低かった。日照時間は鎌子・千葉・館山・勝浦は平年に比べかなり多かった (千葉県・鎌子地方気象台)。                      関東甲信地方では、山梨県、埼玉県を中心に、4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は、今後2週間程度は持続する見込み (気象庁 5月14日発表)。</p>	255,700	▲ 1,000	▲ 0.4	328,400	104
新潟	(田植)	<p>移植の最適期は5月15日～20日と指導 (新潟県【魚沼】2013稲作情報5月7日)。</p>		<p>5月のイネドロオウムシ発生は佐渡・下越地域は多、その他の地域は平年並み、イネミズゾウムシの発生は多の予報 (新潟県病害虫防除所 5月1日公表)。</p>	<p>5月上旬の新潟県の平均気温は新潟・上越市高田・佐渡市相川ともに平年に比べ低く、全てのアメダス観測地点で平年に比べ低かった。日照時間は新潟と佐渡市相川で平年並み、上越市高田では平年に比べ多く、下越の一部で平年に比べ少なくなったほかは平年並みか平年に比べ多かった (新潟県・新潟地方気象台 5月13日発表)。</p>	545,670	▲ 2,910	▲ 0.5	598,700	104
富山	(田植)	<p>コシヒカリの田植え (除く中山間地) は5月15日を中心に実施を指導 (アルプス農協管内農業技術者協議会 4月12日付)。</p>		<p>5月のイネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、イネゾウムシの発生量は平年並みの予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月2日公表)。</p>	<p>5月上旬の富山県の平均気温は平年に比べかなり低くかった。日照時間は平年に比べかなり多いが、多かった (富山県・富山地方気象台 5月13日発表)。</p>	196,260	▲ 220	▲ 0.1	194,600	100
石川	(田植)	<p>田植え始期は加賀地区、能登地区とも5月1日。田植盛期は加賀地区、能登地区とも5月5日。県全体では5月5日と前年並 (石川県農林総合研究センター 5月17日現在)。</p>		<p>5月のイネドロオウムシの発生はやや多と予想。イネミズゾウムシの発生は平年並みの予想 (石川県農林総合研究センター 4月25日公表)。                      ハナエチゼンの育苗で苗立枯病の発生が見られる地域もあるが、JA育苗センターでは病害は今のところ確認されていない。なお5月6～7日の強風により一部地域の育苗ハウスでビニール破損や倒壊などの被害があった (福井県農業試験場 5月9日公表)。</p>	<p>5月上旬の石川県の平均気温は金沢・輪島ともにかなり低く、日照時間は金沢・輪島ともに多かった (石川県・金沢地方気象台 5月13日発表)。</p>	129,400	▲ 1,640	▲ 1.3	132,000	101
福井	(田植)	<p>連休明けまで気温が低かったため、直播水稻の出芽が5～10日遅れ (福井県他 5月9日付)。</p>		<p>5月上旬の福井県の平均気温はすべての地点で平年よりかなり低かった。日照時間は越前・今庄・小浜で平年より多く、そのほかは平年よりかなり多くなった (福井県・福井地方気象台 5月13日発表)。</p>	133,360	490	0.4	131,800	100	
長野	(田植)	<p>田植え作業が本格化 (松本農業改良普及センター 5月10日付)。</p>		<p>今年は大寒害を受けた苗や極端な低温・高温、日照不足等で生育が弱った状態の苗を移植する機会が多いと思われる (松本農業改良普及センター 5月10日公表)。</p>	<p>5月上旬の長野県の平均気温は平年に比べ長野・松本・諏訪・飯田でかなり低く、軽井沢で低かった。日照時間は平年に比べ長野・松本・諏訪・軽井沢・飯田でかなり多かった (長野県・長野地方気象台 5月13日発表)。                      関東甲信地方では山梨県、埼玉県を中心に、4月中旬から降水量の少ない状態。この状態は今後2週間程度は持続する見込み (気象庁 5月14日発表)。</p>	204,400	750	0.4	205,000	98

			t	%	t		
滋 賀		5月の黄縮病の発生は少、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシの発生はやや少の予報（滋賀県 4月23日公表）	170,380	▲ 810	▲ 0.5	170,300	102
兵 庫		5月の馬鹿苗病、苗立枯病の発生は平年並みの予報	187,940	▲ 1,530	▲ 0.8	188,300	100
岡 山		5月の苗立枯病の発生はやや少、ヒメトビウカの発生は少、縮葉枯病・ツマグロヨコバイの発生はやや多、萎縮病・イネミズゾウムシの発生は平年並みの予報（岡山県 5月2日公表）	166,040	520	0.3	169,200	100
広 島		同上	134,400	520	0.4	137,400	103
山 口		5月のイネミズゾウムシの発生時期は平年に比べてやや遅いと予測（山口県病害虫防除所 5月1日公表）	116,350	1,990	1.7	114,100	101
愛 媛	（育苗） 普通期水稲の育苗は5月から開始	にこまるはヒノヒカリに比べ伸長が早いので、苗を伸ばし過ぎないように指導（愛媛県 5月14日公表） 5月のいもち病の発生は平年並み～やや多と予報（愛媛県 5月2日公表）	76,180	▲ 80	▲ 0.1	74,500	98
高 知	（田植） 早植え、標準植えともに病害虫は見られず順調（JA全農こうち 4月17日現在）	（早期稲）移植後の植え傷みは少なかったが、夜温が低かったため、生育時期はやや遅れ気味ではあるものの生育自体はやや良（高知県病害虫防除所 5月2日公表）	51,750	190	0.4	57,500	98
福 岡			191,240	290	0.2	185,700	98
熊 本			197,710	▲ 2,450	▲ 1.2	188,400	97
宮 崎	（田植） 早期稲の田植え盛期は3月26日	（早期稲）現在、活着期～分けつ期（JA宮崎経済連ホームページ 5月7日公表）	99,130	▲ 1,810	▲ 1.8	89,400	95
鹿 児 島	（田植） 早期稲の田植えは3月末から4月上旬頃が適期。山間部は4月中旬と指導（大隅地域）（鹿児島県ホームページ）	（早期稲）5月の葉いもちの発生は平年並みと予報（鹿児島県病害虫防除所 5月1日公表）	115,520	▲ 1,440	▲ 1.2	107,600	96

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め（平成25年5月20日現在）。

注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

注3：前報からの更新箇所は下線で表した。

参考資料：平成24年度水稲の収穫量（農林水産省）、平成25年度米の都道府県別の生産数量目標について（農林水産省）、農作物の生育状況（5月15日現在）（北海道）、石川・空知・後志地方農業気象速報（札幌管区気象台）、5月15日現在田植え遅れ状況（青森県）、青森県農業気象速報（青森県）、田植の進捗状況（5月13日現在概況速報）について（岩手県中央農業改良普及センター・県域普及グループ）、岩手県農業気象速報（岩手県・盛岡地方気象台）、東日本と西日本の少雨に関する全農気象情報5月14日（気象庁）、平成25年度水稲の田植進行状況について（5月14日現在）（宮城県）、宮城県農業気象速報（宮城県・仙台管区気象台）、平成25年度生育状況報告5月17日号（秋田県）、秋田県農業気象速報（秋田県・秋田地方気象台）、おいしい米づくり情報第4号（山形県庄内総合支庁）、稲作だより第4号（山形県最上総合支庁）、山形県農業気象速報（山形県・山形地方気象台）、JA新福島ホームページ（http://www.shinfuku.jp）、福島県農業気象速報（福島県・福島地方気象台）、平成25年度病害虫発生予察情報発生予報第1号（4月）（福島県病害虫防除所）、リアル生育情報：水稲（茨城県農林事務所坂東地域農業改良普及センターホームページ http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/bandofukyu/index.html）、病害虫発生予報5月号（茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会）、茨城県農業気象速報（茨城県・水戸地方気象台）、平成25年度病害虫発生予報第1号（埼玉県病害虫防除所）、埼玉県農業気象速報（埼玉県・熊谷地方気象台）、少雨に関する埼玉県気象情報5月14日（熊谷地方気象台）、平成25年度病害虫発生予報第2号（千葉県農林総合研究センター長）、千葉県農業気象速報（千葉県・銚子地方気象台）、農作物等の生育・管理情報（新潟県ホームページhttp://www.pref.niigata.lg.jp/nosanengei/1336510899072.html）、平成25年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第2号（5月の発生予想）（新潟県病害虫防除所）、新潟県農業気象速報（新潟県・新潟地方気象台）、宮城県第2号（アルプス農協管内農業技術者協議会）、稲作情報第2号（育苗後半・田植編）（水見市農業技術者協議会）、病害虫発生予報第2号（富山県農林水産総合技術センター所長）、富山県農業気象速報（富山県・富山地方気象台）、平成25年度水稲の生育状況と今後の対策（水稲生育診断技術確立調査1号）（石川県農林総合研究センター）、病害虫発生予報第1号（石川県農林総合研究センター）、石川県農業気象速報（石川県・金沢地方気象台）、稲作情報No.3（稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会）、今月の農業技術（水稲5月）（福井県ふくいアグリネット）、福井県農業気象速報（福井県・福井地方気象台）、平成25年度技術普及情報第6号（長野県松本農業改良普及センター）、長野県農業気象速報（長野県・長野地方気象台）、滋賀県農業気象速報（滋賀県・彦根地方気象台）、平成25年度病害虫発生予報第2号（滋賀県）、平成25年度病害虫発生予察予報第1号（兵庫県病害虫防除所）中国地方1か月予報解説資料（広島地方気象台）、平成25年度病害虫発生予報第2号（岡山県）、広島県農業気象速報（広島県・広島地方気象台）、山口県農業気象速報（山口県・下関地方気象台）、イネのイネミズゾウムシ発生予測4月30日（山口県病害虫防除所）、今月の天候と農作業5月（愛媛県）、少雨に関する四国地方気象情報第1号（高松地方気象台）、病害虫発生予報（5月）（愛媛県）、お米生育日記（JA全農こうちホームページ http://www.zennoh-kochi.jp）、平成25年度病害虫発生予報4月月報・平成25年度病害虫発生予報第2号（5月）（高知県病害虫防除所）、1か月予報（九州北部地方）解説資料（福岡管区気象台）、九州南部・奄美地方1か月予報（鹿児島地方気象台）、田んぼの様子（JA宮崎経済連ホームページ http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html）、